学校だより　6月号

相模原市立二本松小学校
2026. 5. 25

にほんまつ

「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

「 我以外皆我師也 」

校長　　松浦　隆志

「我以外皆我師也」（われ いがい みな わが し なり）という言葉をご存知でしょうか。この言葉は、「宮本武蔵」で有名な作家の吉川英治の言葉です。吉川英治が、論語の「三人行必有我師（三人行えば必ず我が師あり）」という論語の教えを基に、「周りのすべてが師である」とより広く解釈し、「我以外皆我師」と表現したそうです。

吉川英治は、少年期に苦労を重ね、職を転々としながら独学で作家としての道を切り開きました。文学の師と呼べる人物はいなかったといわれています。謙虚な姿勢で自分が出会った人や出来事から何かを学び取り、自身の成長につなげました。そうした積み重ねが大文豪「吉川英治」をつくりだしたともいえます。

さて、二本松小学校では「聴くこと」を大切に教育活動を行っています。「聴く」は、音や声が自然と耳に入ってくる受動的な「聞く」とは違います。「聴く」とは、「内容を理解しようと自ら進んで注意深く耳を傾ける能動的な行為」です。

「聴く」という漢字の中には、「心」があります。耳や目を通して、相手が言う事や考えていること、感じていることをわかろうと「心を寄せる」ことが、「聴くこと」の根底になければならないと考えています。

吉川英治の「我以外皆我師」にあるように、常に謙虚な気持ちをもって、相手に「心をよせる」ことを意識しながら、これからも「聴くこと」を大切にする二本松小学校にしていきたいと考えています。

学校と学年からのお知らせ

学校

☆水泳学習について　プール開き　6月8日(月)

プールセット(水着・水泳帽・タオル・水泳カード※押印)の準備をお願いします。

水泳帽は、昨年と同じ赤色です。水泳カード(5日に配付します)の記入漏れ(体温や押印)や、忘れ物がある場合は見学となりますので、確認をお願いします。プールセットの持ち物全てに記名をお願いします。特に、水泳帽には、名前が正面にくるように記名していただけると助かります。ゴーグルやラッシュガードを使用しても構いません。自分で管理ができるよう、ご家庭でも声かけをお願いします。

※スクリレで送らせていただいた水泳参加承諾のアンケートが未回答のご家庭は、回答をお願いします。
※プールでも、熱中症になる恐れがあるため、水分補給に気をつけながら学習します。水筒を持たせてください。

1年

クラスの環境にもだいぶ慣れて、休み時間には友だちとの遊びが活発になってきました。また、予定帳の記入や宿題、日直の活動、係活動などにも、わくわくしながら取り組む姿が見られます。「自分のことは自分で」「友だちと力を合わせて」をキーワードに、6月も”わくわく”を大切にして、学校生活を過ごしていきたいと思います。

2年

6月は生活科の「まちたんけん」に出かけます。遠足で学んだチームワークを生かして、地域のすてきなところをみんなで協力して見つけてほしいと思います。安全確保のための付き添いボランティアをスクリレで募集します。お忙しい毎日の中、大変恐縮ではございますが、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひお力添えをお願いいたします。

3年

社会科で、学校周辺を探検しました。「建物の様子」「土地の様子」「交通の様子」という、2年生の町探検とはまた違った視点で、自分たちの住む地域を捉えました。6月16日(火)はSDGsスタディーツアーです。バスに乗って、二本松地域以外の市の様子も学んできます。詳しい持ち物等は、後日配付のしおりをご確認ください。

4年

先日、社会科の学習の一環で浄水場見学に行ってきました。一人ひとりが学習のめあてを意識し、意欲的に臨んでいました。浄水場の方にはもちろんのこと、行き帰りの道ですれ違う方にも進んで挨拶をしている姿が見られ、素晴らしかったです。6月には、ごみの分別学習(資源ジャー体験)＆北清掃工場見学を予定しています。さらに素晴らしい態度で学習に臨んでくれることを期待しています。

5年

★社会科の学習について

お米に関しての学習で、おうちでどのようなお米を買っているかなどを子どもが調査します。お米の袋があれば、捨てずに取っておいていただけると学習に役立ちます。ご協力よろしくお願いします。

★家庭科「小物づくり」について

学習した縫い方を生かして小物づくりに挑戦します。布は学校で用意しますので、飾り付けようのフェルトやボタンの用意をお願いします。

6年

いよいよ3日(水)から修学旅行です。忙しい日々の中で、実行委員を中心に準備を重ねてきました。修学旅行に向けて、日々の生活態度から意識しようと行動していました。保護者の皆様にもご準備いただきありがとうございました。修学旅行後は、疲れも溜まるかと思います。ここまでの頑張りが次に繋がるよう、担任一同サポートしてまいります。